

# 助産師教育研修研究 センター事業報告

2021 年度

公益社団法人 全国助産師教育協議会  
助産師教育研修研究センター



## 目次

I. はじめに.....	3
II. 助産師教育研修研究センター事業概要.....	4
1. 目的.....	4
2. 事業内容.....	4
III. 各事業の計画と実施.....	4
1. ファーストステージ研修.....	4
1) 目的.....	4
2) 受講生.....	4
3) 2021年度開講科目実績.....	5
(1) 担当講師一覧.....	5
(2) 受講生の属性.....	6
4) 評価.....	7
(1) 受講者研修終了後アンケート結果.....	7
5) 公開講座.....	15
2. セカンドステージ研修.....	17
1) 概要.....	17
2) 受講生.....	18
3) 評価.....	18

(1) 受講者研修終了後アンケート結果 .....	18
4) 成果（アクションプランのテーマ）.....	24
3. 特定分野（助産）における保健師助産師看護師実習指導者講習会 .....	25
1) 概要 .....	25
(1) 目的.....	25
(2) 実施方法.....	25
(3) 受講生の状況.....	25
2) 2021 年度開講科目実績.....	26
(1) 開講科目と担当講師 .....	26
(2) 助産学実習指導の実際Ⅱの演習内容 .....	26
3) 評価 .....	27
(1) 特定分野（助産）における保健師助産師看護師実習指導者講習会 アンケート結果	27
4. e-learning 研修 .....	35
1) コンテンツ .....	35
2) 2021 年度配信数 .....	35
IV. センター事業における CLoCMiP®レベルⅢ認証申請のための研修一覧 .....	36

## I. はじめに

COVID-19 感染症も 3 年目に入りこの感染症は世界で猛威を振るい、医療界、産業界、経済界、教育界と国民生活全般に多大な影響をもたらしております。日本で 2020 年 1 月 16 日に COVID-19 感染症が報告されて以来、助産師教育研修研究センターにおいても対面教育の見通しが立たず、主なる 3 つの教育研修は Zoom によるオンライン教育に切り替えて今日に至っております。

①本来なら 2020 年 6 月開講予定の助産師教育ファーストステージ研修は、11 月から開講し、全課程修了まで 17 か月間を要しました(2022 年 3 月、教育実習を除く)。教育方法は、従来の全科目履修生の公募ではなく、2022 年度からのカリキュラム改正に対応できるよう、教科目の順序性を変更して、教科目ごとに教育を進めました。1 教科目ごとの受講生は 12 名前後で、科目によっては公開講座も行き、30 名前後の受講生が参加しました。

②助産師教育セカンドステージ研修は、「助産師教育開発論」をテーマに 5 名の受講生が参加し、2021 年 8 月から 12 月までオンライン教育で 2 グループに分かれて研修を行いました。課題は、現助産師教育を鑑みながら、教育の発展性に向けて「実践可能な教育」を考究することでした。本成果物は学会などで報告する予定です。

③特定分野における保健師助産師看護師実習指導者講習会(厚生労働省認定)は、8 月から 10 月に 38 名の受講生を迎えて研修が行われました。臨床からの参加者 28 名、教育界からの参加者 9 名でした。オンデマンドによる教育原理等を受講後、短期間で実習指導の実際を学習し、その後グループに分かれ演習が行われました。38 名の演習は担当講師の方々には多くの負担と尽力を要しましたが、臨床指導に携わって下さるの方々には貴重な研修の場になって評価されております。

上記、3 つの教育研修ともオンライン教育を初めて行き、対面教育とは異なる新たな研修を体験することができました。全国各地から受講生が参集でき、Zoom による講義と演習は、すでに大学をはじめ各教育機関で行われており、受講生がオンライン教育に慣れ馴染んでいることから、その利点を効果的に生かすことができ、教育の改善を図ることができるかと思えます。しかし、実習を伴う演習や、画像でくみ取れない対面教育での教育効果、講師の人間性や教育への思い、人間対人間の相互作用を通しての学びなど、奥深い教育の重要性も取り込みながら、今後の教育を洗練させていく必要性も感じさせられました。

COVID-19 感染症が教育界にもたらした影響を前向きにとらえて、本研修の教育事業に携わって下さいました教育研修研究センターの委員各位、ご指導下さいました講師の先生方、全国助産師教育機関会員の皆様方に衷心より厚く御礼申し上げます。

2022 年 4 月 助産師教育研修研究センター長 平澤美恵子

## II. 助産師教育研修研究センター事業概要

### 1. 目的

公益社団法人全国助産師教育協議会 助産師教育研修研究センター（以下、本センター）は、助産師教育に携わる者が、高度な助産実践の教育力を修得・維持し、助産師教育の質の向上に生涯学習の場として資することを目的とする。

### 2. 事業内容

- ① 助産師教育に関わる教員を対象とした研修  
（教育学に関する内容、助産師教育課程、助産師教育の基礎に関する内容、助産学（論）、助産師教育論・教育制度、助産師教育方法及び評価、学校運営等）
- ② 助産師教育に関わる臨床指導者を対象とした研修  
（教育学に関する内容、助産師教育課程、助産師教育の基礎に関する内容、助産学（論）、助産師教育論・教育制度、助産師教育方法及び評価、臨床指導論、指導技術のスキルアップ等）
- ③ 研究機関に属さない助産教員を対象に、助産研究能力の向上を目指した支援

## III. 各事業の計画と実施

### 1. ファーストステージ研修

#### 1) 目的

助産師教育に携わる教員や臨地実習指導者が、助産実践力を基盤にし、助産観と教育観に裏付けられた教育力を養い、ひいては助産師教育全体の質の向上を図ることができるようになる。

#### 2) 受講生

2021年度「助産師教育ファーストステージ研修」は、大学、短期大学、専門学校、臨地で助産師教育に携わっている者が受講した。

3) 2021 年度開講科目実績

(1) 担当講師一覧

科目	氏名	所属
助産師教育方法論 2単位(60時間)	高橋 弘子	元 北海道科学大学
	伊藤 美栄	国立病院機構京都医療センター附属 京都看護助産学校
	島田 智織	茨城県立医療大学
	村上 明美	神奈川県立保健福祉大学
	藤井 ひろみ	大手前大学
	白石 三恵	大阪大学大学院
助産師教育方法論演習 1単位(30時間)	村上 明美	神奈川県立保健福祉大学
	藤井 ひろみ	大手前大学
	白石 三恵	大阪大学大学院
助産論 (1単位 30時間) 助産論演習 (1単位 30時間)	平澤 美恵子	助産師教育研修研究センター
	片岡 弥恵子	聖路加国際大学大学院
	井本 寛子	日本看護協会
	安達 久美子	東京都立大学
	大石 時子	高崎健康福祉大学大学院
	高橋 良幸	文部科学省
	菊地 沙織	厚生労働省
助産師教育評価 (1単位 30時間)	梶田 叡一	聖ウルスラ学院
	近藤 潤子	天使大学大学院
	倉本 孝子	社会医療法人愛仁会本部看護部
	米山 万里枝	東京医療保健大学
	山崎 圭子	宮崎大学大学院
	渡邊 典子	新潟青陵大学

## (2) 受講生の属性

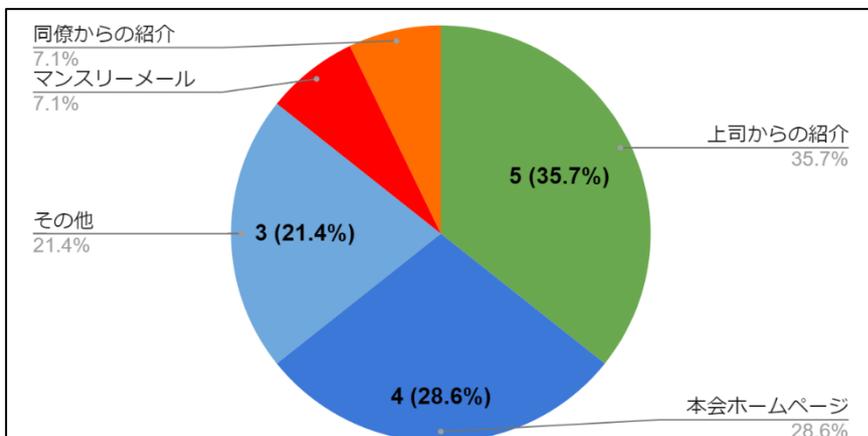
所属別		助産師教育方法論	助産師教育方法論 演習	助産論	助産論演習	助産師教育評価
教育課程	大学院	1	1	1	1	
	大学・短期大学の専攻科	1	1	2	2	2
	大学	9	8	10	5	6
	専門学校	4				3
臨床指導者		1				1
その他						
計		16	10	13	8	12

#### 4) 評価

##### (1) 受講者研修終了後アンケート結果

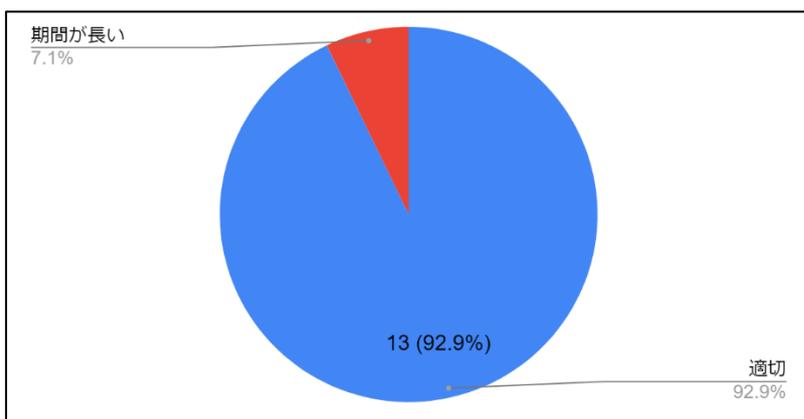
##### 1 助産師教育方法論

1. 研修の開催をどこで知りましたか？1つ選択してください。14件の回答



2.開催期間(2021年2月~5月)についてお伺いします。1つ選択してください。

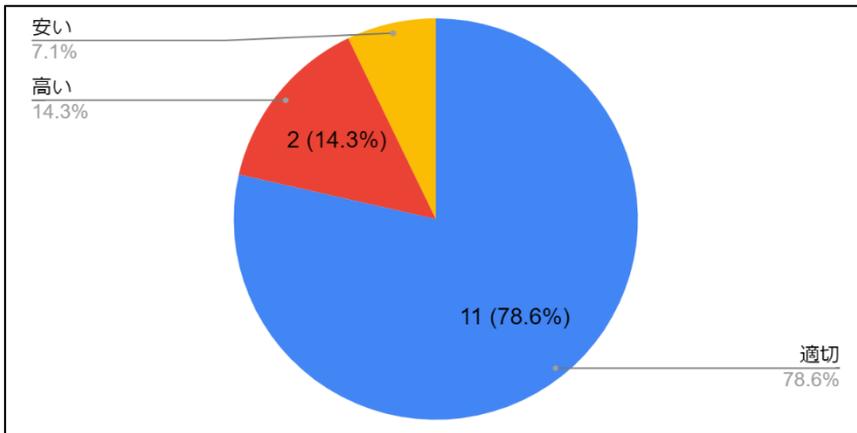
14件の回答



「期間が長い」「期間が短い」を選択された方にお伺いします。どのくらいの期間が適切ですか。1件の回答

・所属施設の助産師課程が1年教育のため、年度末と年度の始まりの両方にかかってしまったので、少し調整が必要でした。

2. 受講料についてお伺いします。1つ選択してください。14件の回答



4. 助産師教育方法論の講師にご意見・ご要望・ご感想がありましたらご記入ください。

11件の回答(内容抜粋)

- ・これまで学んでこなかった知識、最先端の教育、今後必要とされる助産師教育等、本当に様々な視点から学ぶことができ、自分が行っている教育を振り返り整理する良い機会となりました。指導案作成の演習は、科目の初めに課題を示していただき良かった。
- ・助産師教育を考え始めて間もなく、教員の仕事も始まり同時進行が難しかったです。年齢がだいぶたってからの新しい環境でしたが助産師の歴史、教育の変化、現在の助産師活動また、これからのビジョンを知ることができました。今後自分の助産師としての活動や意味、教育現場で伝えられる事は何なのか、常に問いかけていきたいと思います。
- ・今回の方法論の研修で最後の指導案の作成まで受講してみて、これまで立ててきた授業のどうなってほしいのか、という視点で目標を設定できていなかったように思います。先生方のご講義の中で、基礎教育の段階から、臨床で実践する人を育てていることにつながっていくのを実感することができました。
- ・講義前には知らなかった言葉・教育方法を学び、それをすぐ実践できるような講義内容・動画を準備してくださったのは、とても有意義な時間でした。
- ・未熟な教員である自分にも出来る事はあるのだと感じたのは、島田先生が教えてくださった「学生の変化・成長を評価する」という視点です。学生の成長に関われる教員という仕事を楽しみ、自分も成長していけるよう努力し続けたいと思います。

5. 全国助産師教育協議会ファーストステージ研修「助産師教育方法論」にご意見やご要望、感想がございましたらご記入ください。

9件の回答(内容抜粋)

- ・講義とは別枠でzoomミーティングを行ったがその時間が学習効果を高めることを実感した。もしオンラインが続くようであれば、グループワークの時間を増やしていただけないかと思いました。
- ・研修の到達目標が明確に示されていないと感じた。研修の課題(指導案を3つ作成すること)

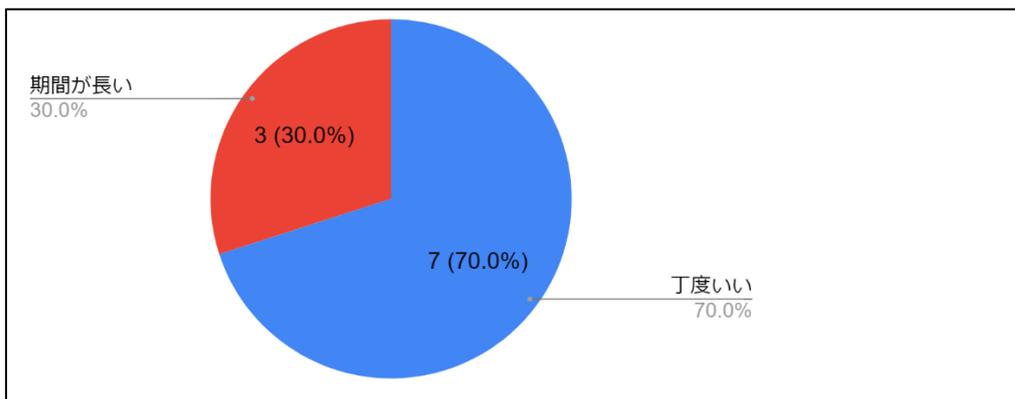
の説明がもっと早い段階であると、そのつもりで準備しながら日々を過ごせた。GW の時間が少なく、また、指導案発表の際の質疑の時間が短い(発表者が超過したのもいけないが)ため、なかなかディスカッションが発展しなかったように思い残念。オンライン研修は、ちょっとした雑談ができず、ちょっとした質問ができないのが難点だと思った。まとめの日の学びの共有の時間はとても良かった。

- ・先生方の講義はとても興味深く、楽しく学ぶことができました。一つの指導案に対して皆で意見を出し合って作業することで、具体的にイメージをすることができたことがとても良い経験となりました。最後の発表会のように、学生からのコメントだけでなく、必ず先生方からのコメントも頂ける時間があると、遠慮なく質問や意見も伝えやすいと思いました。

## ②助産師教育方法論演習

1. 研修の開催期間(2021/6月~9月)についてお伺いいたします。

10件の回答



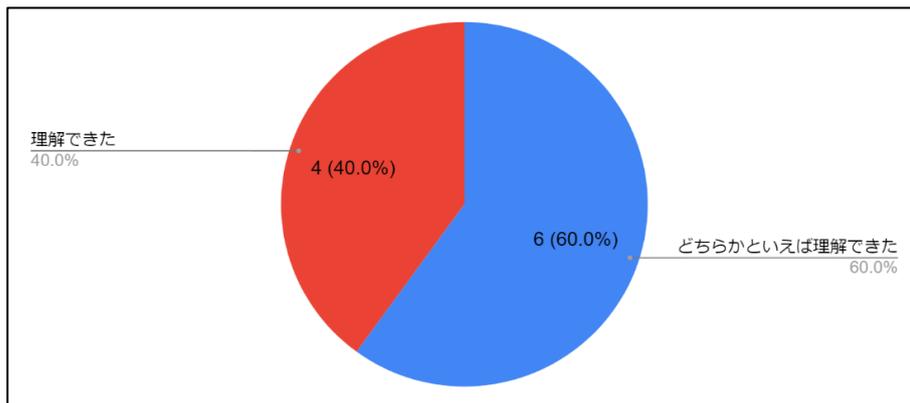
2. 「期間が長い」「期間が短い」を選択された方にお伺いします。どのくらいの期間が適切ですか?また、一日の講義時間はどのくらいが適切ですか?

5件の回答

- ・仕事の兼ね合いもありますが、期間が長いと集中力も続きませんので、発表から発表までの期間がもう少し短くても良いかと思いました。
- ・2か月、半日午前3時間、土曜日がよい
- ・定期的に平日決まった時間に入るのは難しいので、土日に開講してくださったので助かりました。特に実習期間が長期に渡るので、時間がよめないことが多いため、平日の同じ曜日に入るのは時間割上、難しいことが多かったです。
- ・何度も発表があり最初は長いように思っていたのですが、ブラッシュアップの期間の必要性がわかり、最終的にはちょうどよかったのではないかと思います。

1. 講義内容についてお伺いします。

10件の回答



4.今年度は全回オンライン研修でしたが、オンラインで演習を行うことについて、ご意見やご感想がありましたらお書きください。

10 件の回答(内容抜粋)

- ・オンラインであるからこそ時間の調整だけでよかったので参加しやすかったです。またオンラインだからこそ全国の方々と一緒に過ごすことができ、とても刺激になり、楽しかったです。研修生同士が話すことができる時間がもう少しあれば良かったと思います。対面・オンラインのどちらかではなく、両方を組み合わせた方法でも良いのではないかと思います。
- ・オンラインだからこそ聞き逃さないようにより集中して聞くだけでなく、配布資料が前もって手に入ったので、講義までに自分の考えを整理する時間を持つことができました。オンラインだからこそ、緊張が低く、自由に質問をすることもできたので良かったです。グループでの関係性は深まってよかった一方、その他の方々と話す時間は少なくなってしまったのは残念でした。対面とオンラインを組み合わせた研修になれば良いと思います。
- ・居住地から東京会場に行くためには往復交通費 2 万円/回、往復時間 5 時間かかるため、負担が大きい。今後もオンライン講習を希望したい。
- ・地方にいると実習等で受講できないことともありますが今回オンラインで受講させていただきありがとうございました。
- ・全国各地の方と交流ができて良かったです。演習は、対面を意識した指導案が主でしたが、オンライン講義を想定した指導案を作成して演習してみても良かったなと少し後悔しています。

5.助産師教育方法論演習の講師にご意見・ご要望・ご感想がありましたらご記入ください。

9 件の回答(内容抜粋)

- ・助産観、知識のブラッシュアップ、教育方法等を自身のレディネスを振り返り、自分の強み、弱みを考える機会になりました。研修生同士で励ましあい、仲間に恵まれたからこそ頑張れたと思います。先生から、毎回、こうすれば…とヒントを出してくださったので、前向きに考えることができるようになりました。研修に色々な仕掛けをしてくださり、私も答えを教えるのではなく、学生に諦めずに自分で考えてもらえるような言葉がけをしたいと思います。
- ・個人での作業がすぐにスタートになったのですが、オンラインの場合では1人でする前に数人のグループなどで講義や演習の内容などを考える時間があつた方が、指導案の立案など

スムーズだったと思います。皆の進捗状況や作業の方向性がよくわからず、戸惑ってしまいました。先生方にはわかりやすい例示をして下さったり、方向性を示して下さったので、落ち込むだけでなく、その先を考えることになりました。

- ・オンラインだと先生方の表情を十分確認することができず、必要以上にマイナスに受け止めてしまいがちでした。途中から何がうまく伝わらなかったのか、何故自分が落ち込んだのかを考えるようになってから、学生に戻った感覚で純粋に研修を楽しむことができました。
- ・学生観やそれに応じた教材観・指導観の具体性が必要となり、状況設定を考えるのが難しかった。一方、実際の実習指導で学生の状況やわからなさ、理解の仕方、行動の起こし方等、丁寧に見てこなかった部分や関わってこなかった部分がわかるようになりました。個々の学習や経験に合わせ、目標に到達に導くかという道筋を考えること等を学びました。

### ③助産論

1. 講師への希望やご意見を具体的にご記入ください。

8 件の回答(内容抜粋)

- ・自分にとってハードルが高いかと思う講義資料でも、受講してみると視野が広がり、あらためて大学院などで学び直しをしたくなった。
- ・研修料金を支払っている研修なので、講義資料をいただけるとありがたいです。
- ・先生方の講義を通して、これからの助産師の社会的な役割、これまでの教育の流れを知り、更に専門職としての社会で果たす役割の大きさ、専門的自立能力を高めて行政への提案までも行える様に助産師に求められている役割を学びました。
- ・科目の最初に、この科目全体の目標と課題、受講生の状況などを紹介いただけるとありがたいです。受講生同士が交流できるのが難しいのがオンラインでの研修です。意図的に講師の先生方から交流できるような内容を入れていただけるとありがたいと思います。

2. オンライン研修についてのご意見・ご要望をご記入ください。

8 件の回答(内容抜粋)

- ・仕事の都合等で、録画対応もしていただくことができ、大変感謝しております。
- ・オンサイト研修も魅力ですが、遠い方々と何度も会う機会を持つことができ、共に学べるのは、オンライン研修の利点だと思います。オンライン研修も、実施の継続をお願いしたいです。
- ・オンラインで、勤務や家庭の状況に細かく対応して下さり、参加で来たのでとても有り難いと感じました。
- ・通常時であれば、居住地が遠方であることから参加を諦めていたかもしれないので、オンラインで研修を行っていただき、大変ありがたかったです。
- ・新型コロナウイルス感染症の影響を心配せず、研修を受けることができ安心して参加できました。オンラインだと受講生同士の交流や繋がりについては難しい側面も感じましたので、コロナが落ち着いたら是非、対面+遠隔のハイブリッドでの受講がしたいと感じました。

3. 其他のお気づきの点や、ご意見をご記入ください。

6 件の回答(内容抜粋)

- ・動画の配信など、事務の方の対応がとても助かりました。ありがとうございました。
- ・ファーストステージの研修には、まだ自分の経験や職位では不足していたかなと感じた部分も多々ありましたが、改めて助産師教育の基盤となる理念、コンピテンシーを学び自分の助産観を見直す機会となりました。研究に関する理論や教育についても大変勉強になりました。

#### ④助産論演習

1. 講師へのご意見やご希望を具体的にご記入ください。

3 件の回答(内容抜粋)

- ・いずれの先生方においても、最新の情報を提供いただき、教育していく上でのヒントや課題もいただきました。中には、もう少し時間をかけてワークをしたかった内容もありましたが、先生方の熱い思いが詰まった大変貴重な講義を受けさせていただきました。
- ・先生方には、2040 年を見据えての内容で、大学での看護及び助産の教育の質の大切さを考える機会となりました。補正予算も教えていただき、DX 革命を踏まえての新しい教育方法が、コロナ禍であり、進められていることを知りました。厚生労働省の先生から院内助産や、助産師外来を担っていく人材育成が必要であると理解できました。

2. オンライン研修についてのご意見・ご要望をご記入ください。

3 件の回答(内容抜粋)

- ・参加できないときの対応があり、とても良かった。グループ演習できて授業方法を学ぶことができました。
- ・受講生同士がフリーで話せる時間があるといいないつも思います。

3. 其他のお気づきの点や、ご意見をご記入ください。

1 件の回答

- ・資料等で、いつでも対応して頂けて、とてもありがたかったです。

#### ⑤助産師教育評価

1. 講師へのご意見やご希望を具体的にご記入ください。

7 件の回答(内容抜粋)

- ・教育目標の設定やタキノミー分類について理解を深めることができました。先生の体験談を数多くお聞きし、学生自身が学んでいくにはどうすべきかを考える機会になりました。また日ごろ感じている教育場面での限界や悩みなどは私たちだけではないということや、それに応じた

具体的な対応策などもお聞きでき、背中を押していただけたように感じました。

・教員間や教員と学生間で何がズレていたのか、自分の職場の強みや弱みを改めて考えることができました。様々な評価をうまく活用して、私たちが今行っている教育を見直し、変化させていくことができるかわかり、とても前向きになることができました。

・教育機関の認証評価について、具体的に理解することができました。評価の視点は十分にわかっていたいなかったため、講義を通して理解が深まりました。特に、評価のための準備などは非常に実践的で、今後の参考に是非させていただきたいと感じました。またこれらの準備資料は認証を受けるためだけではなく私たちが行う教育自体の評価材料としても日々活用できることがわかりました。

・演習では、国家試験の作問を通して、私たちが考えている思考過程は臨臨床的なものであることに気づきました。そして助産学は様々な情報を駆使して母子の状態を評価し、ケアにつなげていることに改めて気づきました。作問に際してエビデンスを確認するために様々な資料が必要となることを実感しましたが、そもそも助産師に求められる内容とは何かということ自体を考えないといけないということを改めて教えていただきました。

## 2. オンライン研修についてのご意見・ご要望をご記入ください。

### 7 件の回答(内容抜粋)

・終了時間は厳守して欲しい。自宅で研修を受けることもあり、国家試験問題作成に関して、事前にアナウンスがあれば、テキスト等を持って帰ることもできた。

・オンラインで、チャットからの資料がうまく受け取れなかった時の対応もしていただけるとありがたいです。

・オンラインだからこそ、初対面であっても質問やグループワークもあまり気を遣わず話しやすかったように感じます。またこの時間数の研修をどこかに出かけて受けるのは、職場の現状では厳しく、オンラインで聞いたことで調整しやすかったです。

・先生方の考えていらっしゃるなどが聞きやすかったのではないかと思います。グループワークでは、持っている資料がどのようなものがあるのかお互いに視覚的に確認しにくかったり、お互いの進捗状態がつかめなかったりと感じることがありました。

・遠方から東京会場まで行くことなく学べて助かりました。マイクテストをして望んで、グループワークは問題なかったのですが、発表でうまくいかず本当にすみません。

## 3. その他お気づきの点や、ご意見をご記入ください。

### 5 件の回答(内容抜粋)

・研修の概要と目標のオリエンテーションが最初にあったほうが良いと思う。国家試験問題作成の体験ができるとは思わなかった(大変ありがたい機会であった)。試験作成は今後の教育活動にとっても役に立つ学修であった。

・演習については、与えられた時間でまとめることが大変難しく感じました(特に国家試験作成について)。個人的には、事前に課題を出していただき、それを持ち寄ってGWできたほうが時間的に余裕を持って取り組めたのではと思います。また、発表については短い時間で作成

した完成度の低い状態でたくさんのコメントをいただきましたが、それを修正しバージョンアップしたものを発表できたほうが自分なりの達成感を感じられたのではないかと思います。

- ・コロナで研修受ける機会が少なくなると考えていましたが、こうしてオンラインで開催していただきありがとうございました。

5) 公開講座

2021年度 全国助産師教育協議会  
ファーストステージ研修

# 公開講座

Zoomによるオンライン講義

メインテーマ「助産師教育と看護行政」  
これからの助産師教育や助産師活動の発展の方略を考えるため、現在の看護行政の動向を学びませんか。

本講座はCLOCMiPの更新要件「選択研修1.5h」に該当します。

募集人員	先着 20 名程度
受講料	1コマ2,200円 (税込)
申込み期限	2021年11月28日(日)

申込み方法 全国助産師教育協議会 <http://www.zenjomid.org/>  
ファーストステージ研修のバナーからご確認ください。

★HPからの申し込みと、受講料のお振込みを持って申し込み完了と致します。  
☆振込口座番号：三菱UFJ銀行 浅草橋支店 普通預金 0109607  
名義人：公益社団法人全国助産師教育協議会 研究センター  
★受講証はメール添付でお送りします。

日程	テーマ	講師
2021年 12月4日(土) 13:00~14:30	行政が助産師に期待する役割と機能	文部科学省 高等教育局 高橋良幸
2021年 12月4日(土) 14:50~16:20	看護行政の最近の動向	厚生労働省 医政局 看護課 菊地沙織

お問い合わせ  
全国助産師教育協議会事務局(火・木・金 事務局在室)  
Tel: 03-6384-2075  
mail: zenjomid.1965@car.ocn.ne.jp

## 2021年度 全国助産師教育協議会 ファーストステージ研修 公開講座 (集合&オンライン研修)

令和4年1月の公開講座は、助産師教育評価に関する公開講座を企画いたしました。

教育評価の現状を知ったうえで、良い評価方法について考えてみませんか？  
梶田叡一先生のお講義は、全国助産師教育協議会事務局にて対面で行います。遠隔地の方はZOOMで参加いただけます。貴重な機会ですのでふらっ  
てご参加ください。

皆様のご参加をお待ちしております。

※本講座はCLoCMIP@の更新要件「選択研修」に該当します

日時	講義テーマ	講師
1月22日(土) 13:00~14:30 14:40~16:10 (2コマ)	教育評価の基本的考え方  参考図書:梶田叡一著 教育評価を学ぶ 文溪堂	聖ウルスラ学院 理事長 梶田 叡一 先生
1月29日(土) 10:30~12:00 13:00~14:30 14:40~16:10 (3コマ)	助産師の専門性を高める教育・評 価の在り方	天使大学大学院 客員教授 近藤 潤子 先生

### 受講料

1コマ 2,200 円

※梶田先生の講義は2コマ4,400円、近藤先生の講義は3コマ6,600円でのお申込みとなります。

### 申し込み

<https://forms.gle/xfjnap5dDIJYAhAV9>



定員 20 名

お申込み・受講料 お振込み締切り日 2022年1月10日 (月)

受講料は三菱UFJ銀行 浅草橋支店 普通口座 0109607にお振込み下さい。

### 場所

全国助産師教育協議会事務局

東京都新宿区四谷本塩町7-9 四谷ニューマンション203

お問い合わせ 全国助産師教育協議会

東京都新宿区四谷本塩町7-9 四谷ニューマンション203

☎ 03(6384)2075 (火・木 在室)

✉ zenjomid.1965@car.ocn.ne.jp

## 2. セカンドステージ研修

### 1) 概要

目標:これからの助産師教育を発展させるためのカリキュラム開発と新たな教育の実現に

必要な資源獲得を考察し実現可能な計画を立案できる。

内容:社会的趨勢に鑑みた助産師教育の内容、方法、資源について考察する。

方法:講義(20%)、演習(80%)。問題意識に基づくオンラインでのグループワークを主とする。

日程およびスケジュール:

2021年8月21日(土)		
時間	所要時間	内容
9:00	10分	あいさつ
9:10	15分	研修ガイダンス
		研修担当者、事務部門紹介
		研修内容概説
		研修日程
		研修方法
9:25	5分	本日のスケジュール説明
9:30	60分	自己紹介と事前課題報告
10:30	5分	講師紹介
10:35	90分	講義(質疑含)
12:05	5分	グループ分け報告
		休憩
13:00	10分	演習方法およびアクションプラン例の説明
13:10	60分	グループワーク開始
14:10	30分	グループワーク進捗報告(終了時間告知)
14:40		(各グループ)課題抽出、打ち合わせ日程調整、散会

第2回集合まで		
研修担当者と日時を調整し進める。目安 2回程度 10月20日までに進捗報告資料を事務局に送付		

2021年10月24日(日)		
時間	所要時間	内容
9:00	90分	グループワーク、報告打ち合わせ
10:30	90分	進捗報告、質疑応答
		休憩
13:00	90分	グループワーク
14:30	60分	進捗報告
15:30		グループワーク、日程調整、散会

第3回集合まで		
研修担当者と日時を調整し進める。目安 2回程度 12月8日までに進捗報告資料を事務局に送付		

2021年12月12日(日)		
時間	所要時間	内容
9:00	90分	グループワーク、報告打ち合わせ
10:30	90分	最終報告
		閉会あいさつ

## 2) 受講生

募集人員:12名

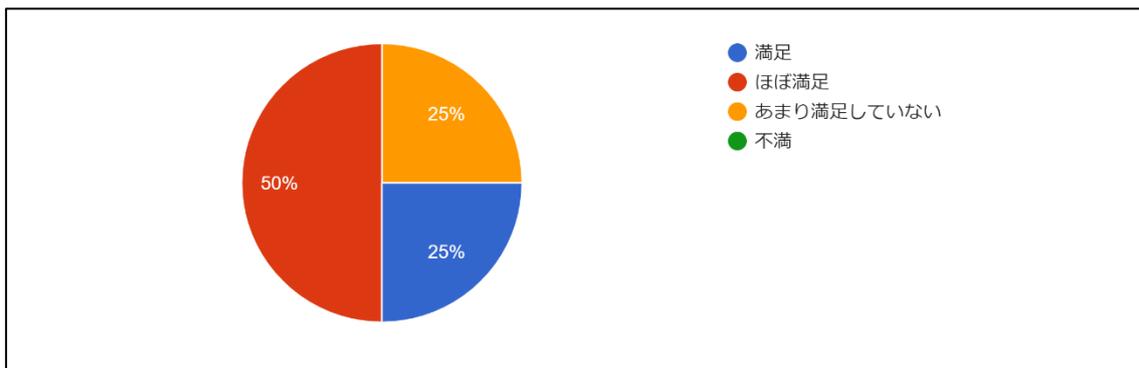
参加者:5名

## 3) 評価

### (1) 受講者研修終了後アンケート結果

アンケートは5部を配布、4部を回収した。

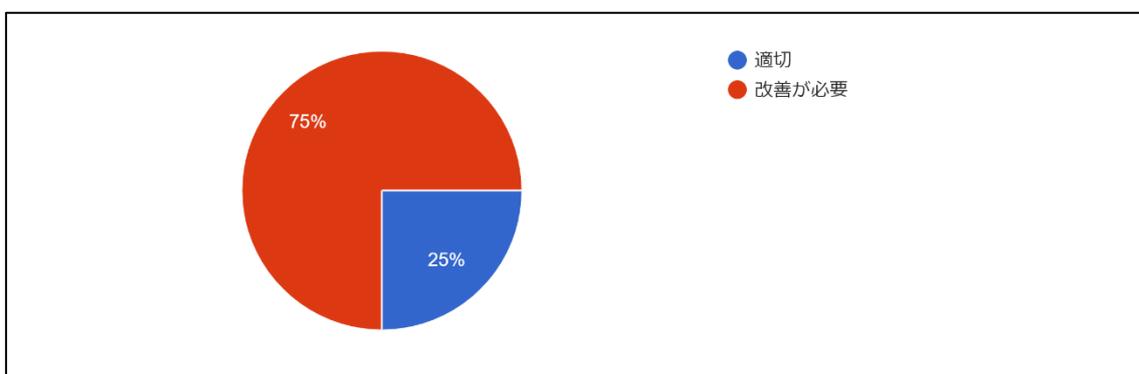
#### 1. 研修の満足度について、該当するものを1つ選んでください。4件の回答



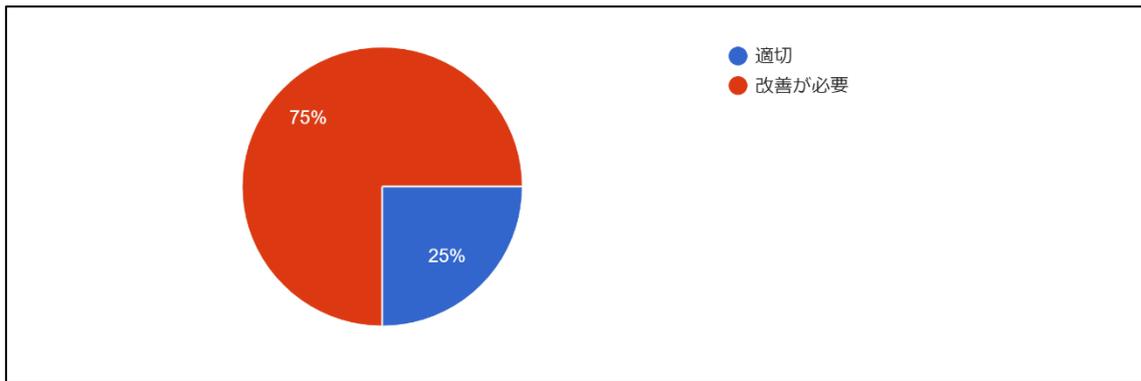
#### 2. 1で回答した満足度の理由をご記載ください。3件の回答

- ・最後が尻切れだった。夢の構想でも良くて、10年後の助産の世界を変えるような発想でも良いと思う。しかし、常に具現化となると制限が多すぎる。
- ・諸先生からご助言を受けることができ、思考が深まったため。
- ・完成度としては、不足していると思いますが、自分たちなりのアクションプランを作り上げることができたので満足しています。

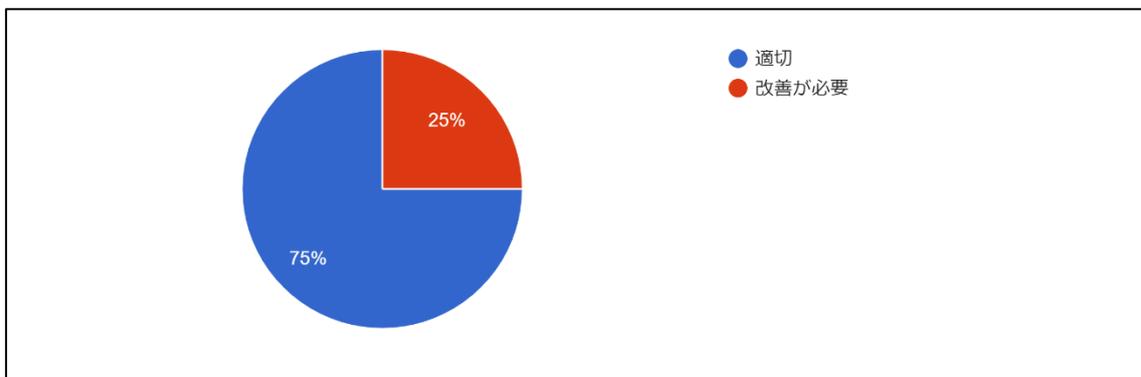
#### 3. 開催時期について該当するものを選んでください。4件の回答



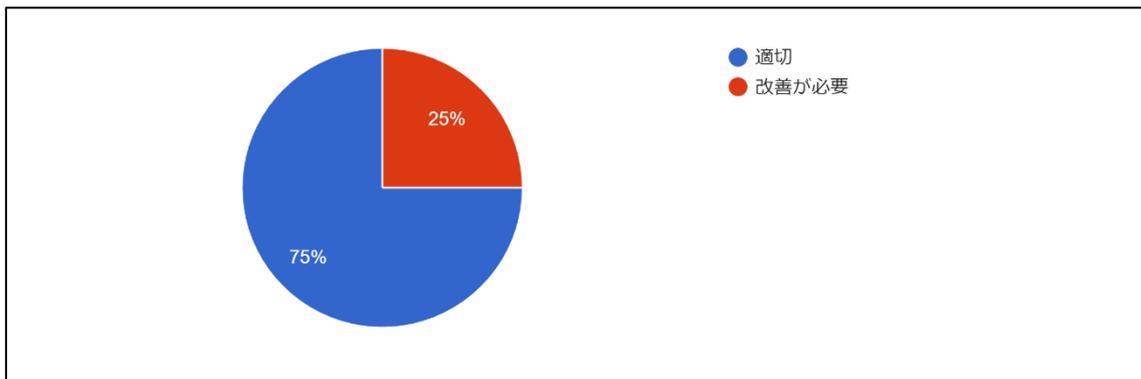
4. 開催期間について該当するものを選んでください。4 件の回答



5. 開催時間について該当するものを選んでください。4 件の回答



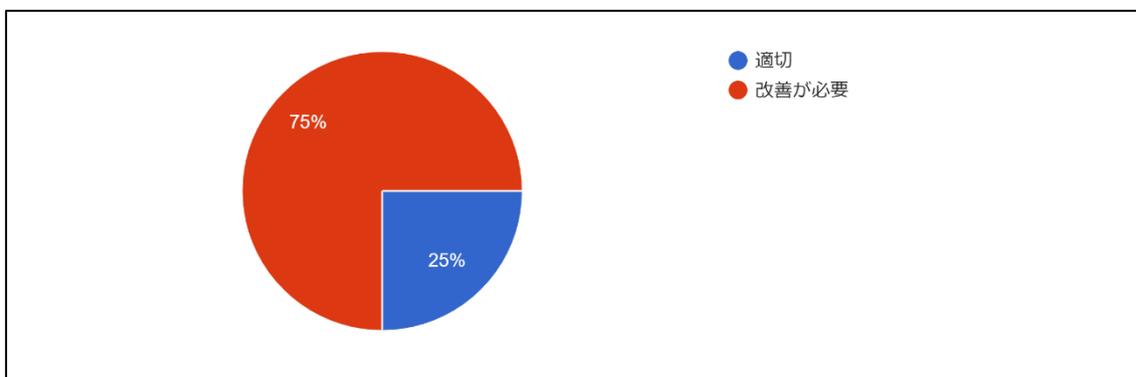
6. 開催方法 (オンライン開催) について。4 件の回答



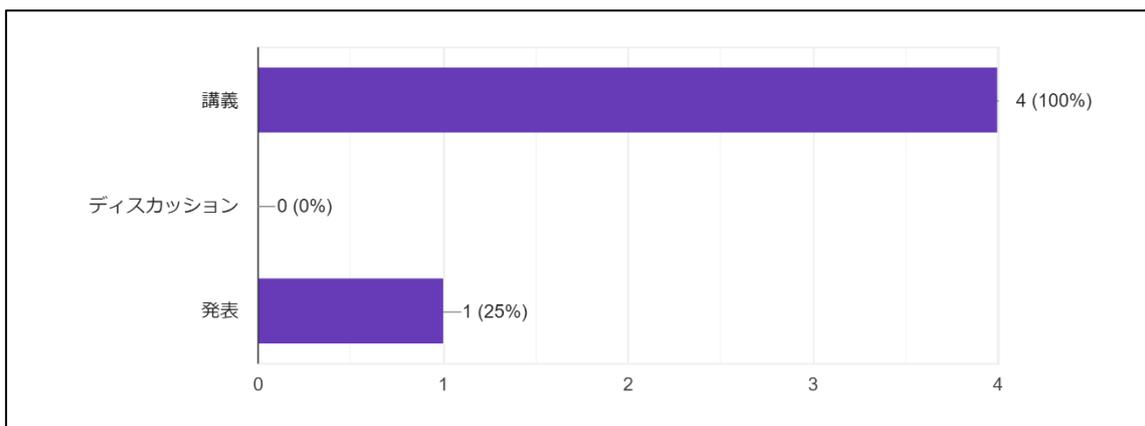
7. 3～6の設問（開催時期、期間、時間、方法）でのご意見をご記載ください。4 件の回答
- ・長すぎた。グループ学習はどんどん進めるので短期でもよい。どうしてほしいというナビがしっかりしていれば無駄な時間は無くなる。
  - ・実習期間は、さまざまな制限があるため、春期休暇等の検討。研修時間内の zoom でのディスカッションは、不要と考えます。十分に、発表まで時間を費やしているので、この時間を申告することで 研修時間と認めていただけるとよいのではないかと、思います。
  - ・やはり実習中、必要な文献が手に入りにくい状況での研修は難しかったです。
  - ・実習時期は大学によって異なり、また地方の実習施設に移住しての実習となります。地方に行きますと、図書の活用が難しくなるため、期間がもう少し長ければもう少し深く検討できたかと思います。遠隔でのグループで検討は、日時を決めるのが大変で、3 人が限界と思われる。

8. 開講様式（講義、ディスカッション、発表）について、該当するものを選んでください。

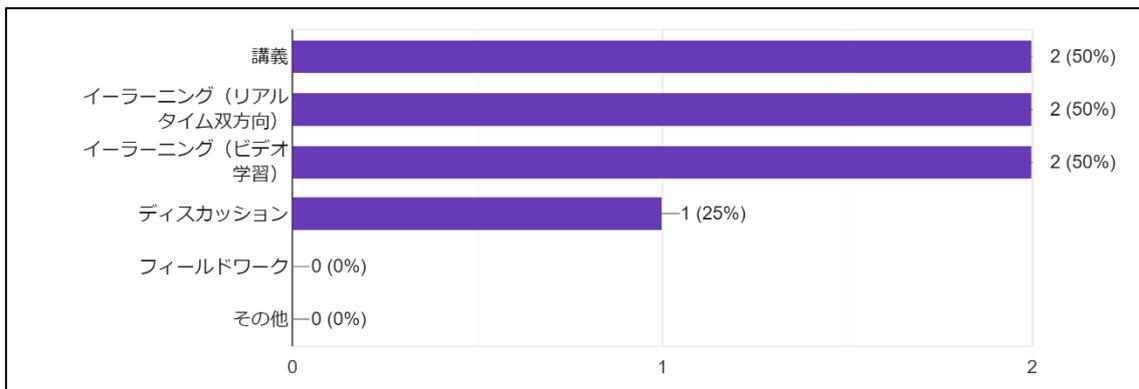
4 件の回答



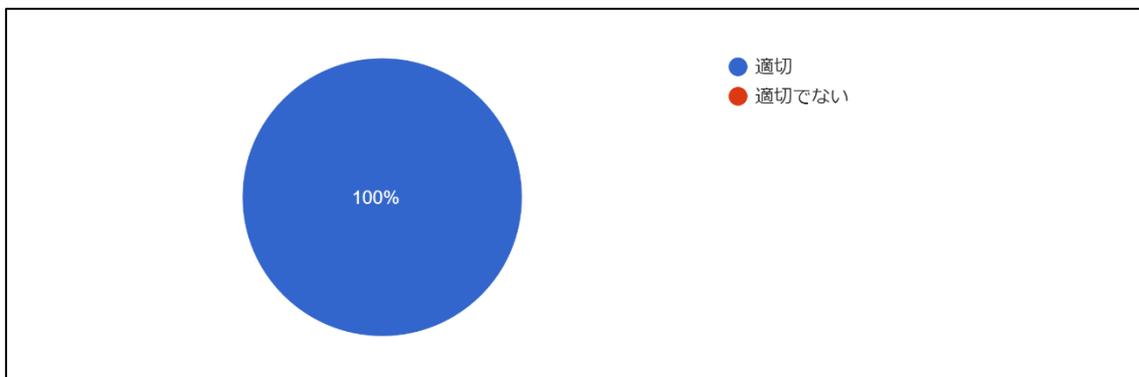
9. 改善が必要と回答された方にお伺いします。改善が必要と思われたのは、以下のどの項目に該当しますか。4 件の回答



10. 開講様式において、今後取り入れるのが望ましいのは、以下のどの項目に該当しますか。  
4 件の回答



11. 科目のレベルは、あなたにとって適切でしたか。4 件の回答

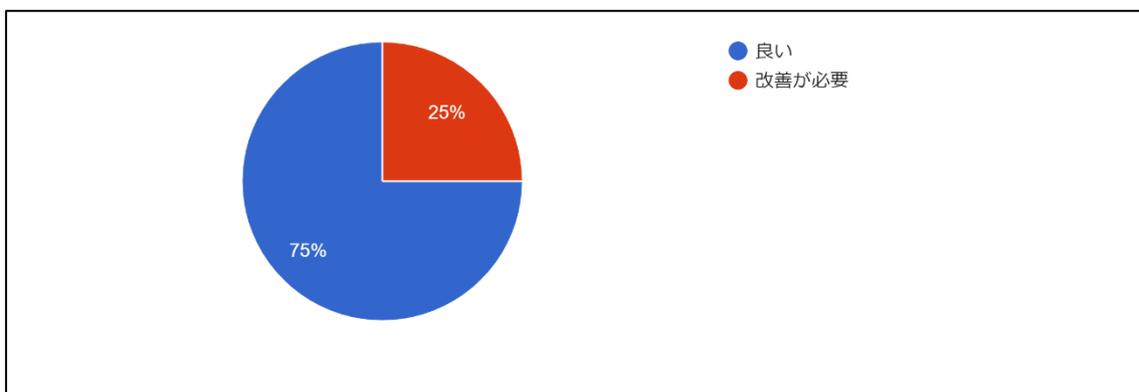


12. 11 の設問で「適切でない」と回答された方にお尋ねします。その理由を記載してください。

回答なし

13. プログラムの流れと学習成果の関係性について、該当するものを選んでください。

4 件の回答

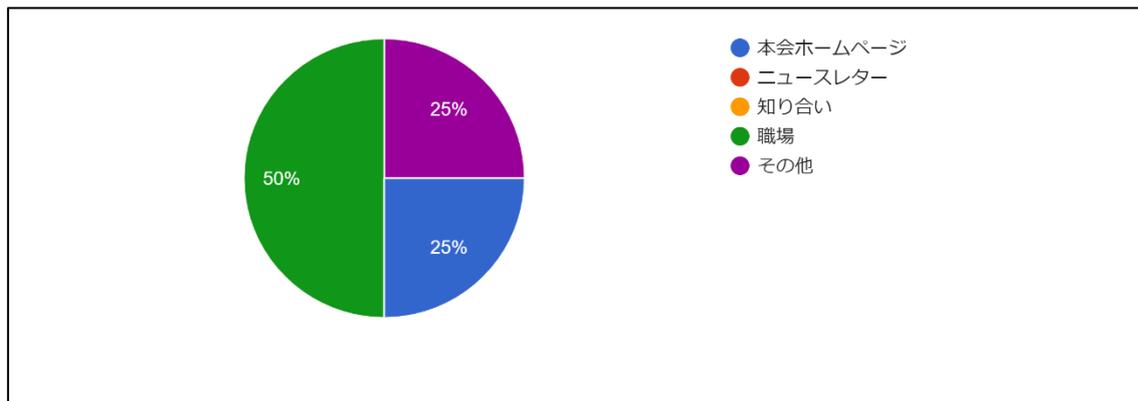


14. 13 の設問で「改善が必要」と回答された方にお伺いします。改善が必要と思われた内容・方法等をご記載ください。1 件の回答

- ・案内を明確にする事

15. この研修をどこでお知りになりましたか。該当する番号を1つ選んでください。

4 件の回答

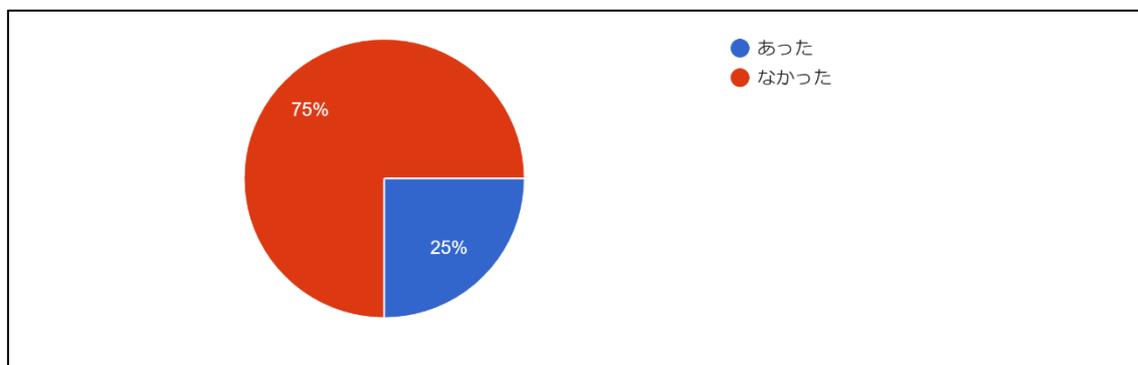


16. 受講に際し、どのようなご苦勞がありましたか。なかった方は「なし」とご記載ください。

3 件の回答

- ・グループ間の会う時間の確保。後期は実習の場合が多く、進行者を見ながらの確保となった。
- ・講義、実習、業務があるため、休日にセカンドステージのための学習や資料作りをしました。このような研修は必要と思いますので、業務の調整ができるようになることが望ましいと考えます。このためには、多くの会員が受講するシステム作りが必要と考えます。
- ・アクションプランを作るということ具体的に、「このような物を作る」という説明があった方が良かったと思います。アクションプランというものが漠然としてしまって何を作ったら良いのか戸惑いました。参考図書などの提示でも良いので参考にするべきものをお示しいただければと思います。

17. 受講費について、職場からの援助がありましたか。4 件の回答



18. 本研修を通して改善点や意見、感想などご自由に記入してください。4 件の回答

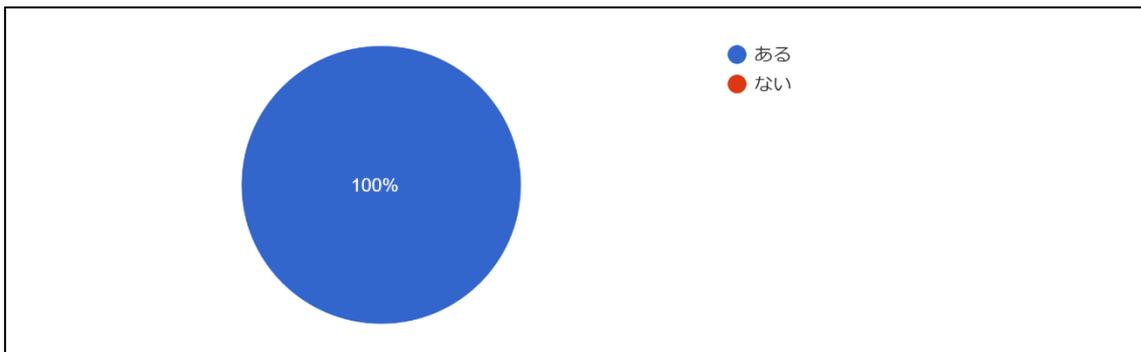
- ・他大学の地域も違う先生方と数か月にわたり遠隔でグループワークできたことは、とても新鮮でしたし、楽しかったです。実習等大変なこともあります、グループ内で励ましあいながら研修も実習も乗り越えられたと実感しています。
- ・どのようなアクションプランをこれまで作成し、どのように展開しているのかを知りたい。公表していただけると活用できる
- ・求めていることが何なのか最後まで分からなかった。幅広い助産師の環境に適応できるような指導者が必要。助産師は狭い料簡でしか存在しない。自分が学んだこととみてきた世界しかない。
- ・講義につきまして、とても貴重な学習をさせていただきありがとうございました。さらに、幅広い視点で、ファシリテーターの先生からも講義をしていただければ（例えば、各月半日でも1回ずつ）、より充実したものになると思います。

19. ご自身の目標に照らして学習到達度、研修の効果、感想についてご記入ください。

3 件の回答

- ・学内では決して上がってこないプランを考えられたと思います。
- ・人生に無駄はない。やらないよりやる努力として勉強にはなった。
- ・ファシリテーターの先生のご助言やメンバーとの意見交換を通して、自分の力では考えられない到達点に導かれたと思います。今回は、最初は授業案を考えましたので、早速次年度にいかせる内容を考えることが出来ました。その後、内容変更をすることで、多方面からの視点をもち考え行動するという実践的な視点を養うことができたと考えます。

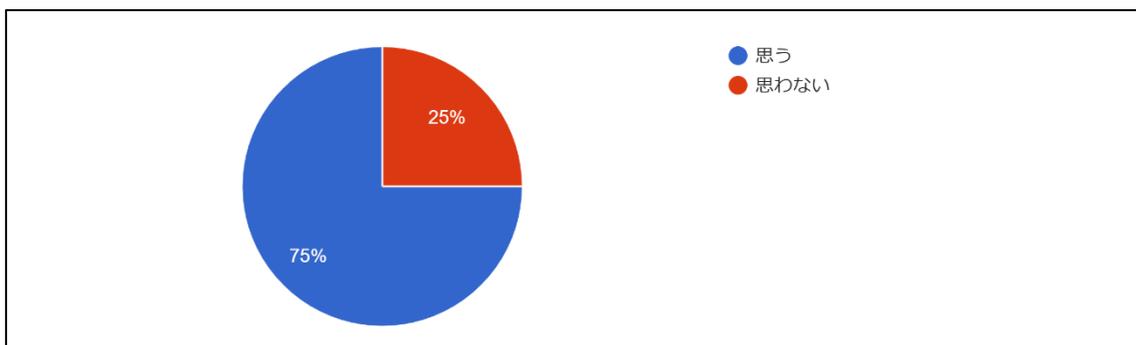
20. 研修への参加で、学習効果以外の利点がありましたか。4 件の回答



21. 20 学習効果以外の利点が「ある」と回答した方にお伺いします。どのような利点があったかを記載してください。4 件の回答

- ・18 番で書いた通りです。
- ・今後の授業に活かせる
- ・zoom を通して全国の助産師と会話ができた。他の皆様の意見が聞けて良かった。
- ・今後に生かすことができる、実践的な行動力

22. この研修を他の人に薦めたいと思いますか。4 件の回答



23. 22 で回答された理由を記載してください 4 件の回答

- ・今まで思いつかなかったプランを発見できますし、他大学の先生と繰り返されるグループワークはとても貴重だと思うので。
- ・他校の教員と交流し、刺激をもらえる
- ・中途半端な気持ちだから、未消化感がある。
- ・この研修は、相応な体力を使うことになりますので、安易に薦めることはできませんが、学ぶことや実践する意欲の高い方には積極的にお伝えできると思います。

24. 今後、どのような内容の教育研修を希望されますか。3 件の回答

- ・実習施設のスタッフとの学習会について。実習施設のスタッフが、学生指導に対してただ自分の仕事が増える、負担に感じるのではなく、後輩育成についての重要性理解とモチベーション維持に貢献できるようにしていきたいと考えています。
- ・助産師の人間性
- ・現在、メンタルヘルスに関する妊産褥婦さんが多くなっています。この方たちに十分対応できるよう、助産師による保健指導に医療点数をつけなければならないと思います。そうしなければ、現場のやりくりだけでは、続きません。本当に必要な支援ができるよう、医療制度改革の中の看護(助産)の点数化、への政策研修を希望します。

4) 成果 (アクションプランのテーマ)

1G: “助産政策” 基本のキ「助産政策 授業の コツ」

2G: 学生が運営する 離島・へき地の妊婦へ届けるオンライン学級(2校の協働による)

### 3. 特定分野(助産)における保健師助産師看護師実習指導者講習会

#### 1) 概要

##### (1)目的

助産師教育に携わる実習指導者または将来実習指導者となる予定の者および教員が助産師教育に関する理解を深め、助産学実習における効果的な指導のために必要な知識、技術を修得する。

##### (2)実施方法

COVID-19の感染状況や臨地実習指導者の利便性を考慮し、令和3年度はオンデマンド研修とオンライン研修を組み合わせて実施した。

オンデマンド研修：令和3年8月16日～31日

オンライン研修(Zoom)：令和3年9月4日・25日・26日、10月9日・10日・23日

##### (3)受講生の状況

###### ①受講者数 38名

###### ②受講者の背景

###### i. 所属・職位

病院・診療所・助産所 27名(師長2名、副師長2名、その他24名)

教育機関 9名(教授1名、助教3名、助手2名、専任教員3名)

その他 2名

###### ii. 実務経験年数：平均15.0年

3年未満 1名

5～10年未満 10名

10～20年未満 16名

20年以上 11名

###### iii. 年齢：平均42.1歳

20歳代 2名

30歳代 14名

40歳代 13名

50歳代 8名

60歳代 1名

###### ③修了者数

修了者は37名、未修了者1名は欠席による時間数不足であった。平成27年度から令和3年度までの修了生は457名となった。

## 2) 2021 度開講科目実績

### (1) 開講科目と担当講師

科目名		時間	講師名		講義形式
教育の基礎	教育原理	1.5	宮野 安治 (関西福祉科学大学 教授・副学長)		オンデマンド
	教育心理	3	林 龍平 (関西福祉科学大学 教授)		オンデマンド
	教育方法	3	細尾 萌子 (立命館大学 准教授)		オンデマンド
実習指導の基礎	助産学実習指導の実際Ⅰ	3	浅見 恵梨子 (甲南女子大学 教授)		オンデマンド
		6	五十嵐 稔子 (奈良県立医科大学 教授)		
	助産学実習指導の実際Ⅱ	24	細尾 萌子 (立命館大学 准教授)	内藤知佐子 (京都大学 助教)	オンライン講義 (演習・グループワークを含む)
			山崎 圭子 (宮崎大学 教授)	五十嵐 稔子 (奈良県立医科大学 教授)	
			森 聖美 (中林病院助産師学院 教務主任)	倉本 孝子 (社会医療法人愛仁会本部 看護部長)	
			景山 直子 (前埼玉医科大学 短期大学 講師)	白石 三恵 (大阪大学大学院 准教授)	
			青山 恵美子 (東邦大学 講師)		

### (2) 助産学実習指導の実際Ⅱの演習内容

助産学実習指導の実際Ⅱの演習科目においては、リフレクションの演習、ファシリテーション・コーチングの演習、実習指導案の作成を行った。最終日には、グループワークで作成した実習指導案の発表を行った。1 グループ 4~5 名で 8 グループ編成とした。以下の A・B の事例について、奇数グループが A、偶数グループが B の実習指導案を作成した。

A: 分娩介助 3 例目初産婦の分娩第一期の助産診断

—不安の強い初産婦に寄り添う—

B: 分娩介助 5 例目経産婦、潜伏期から加速期における診断とケア

—寄り添いのケアの重要性に気づくことができる—

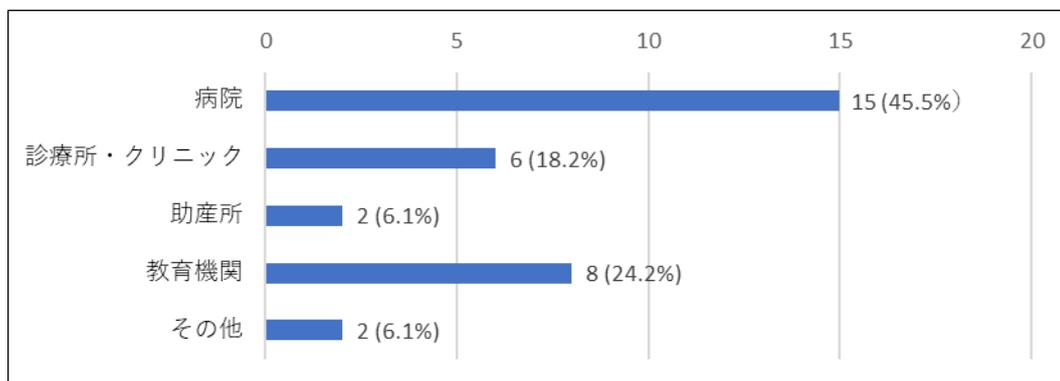
### 3) 評価

(1) 特定分野(助産)における保健師助産師看護師実習指導者講習会 アンケート結果

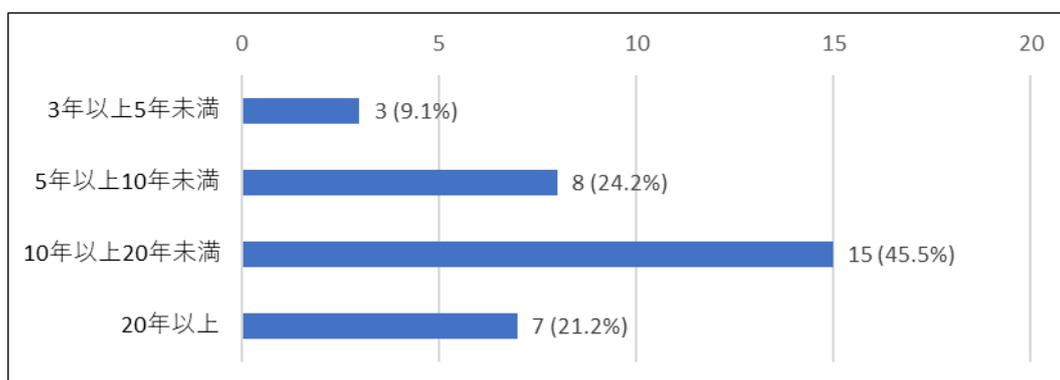
#### ① オンデマンド講義のアンケート結果

アンケートは 38 部を配布、33 部を回収した(回収率 86.8%)。

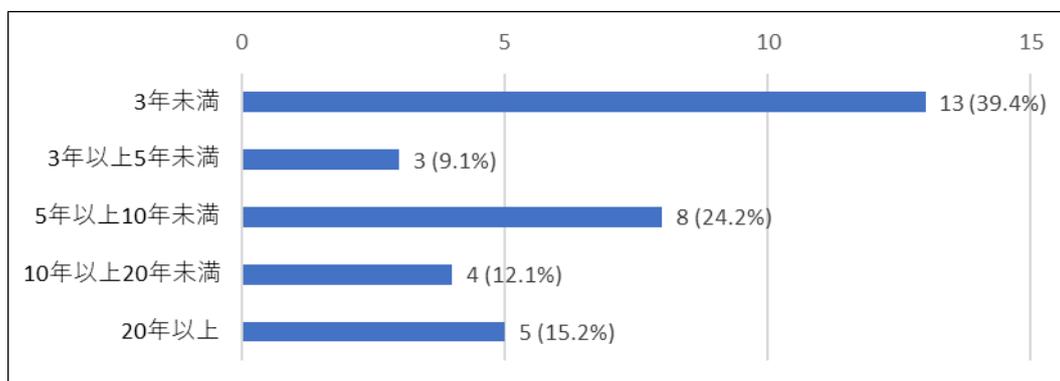
##### i. 所属先



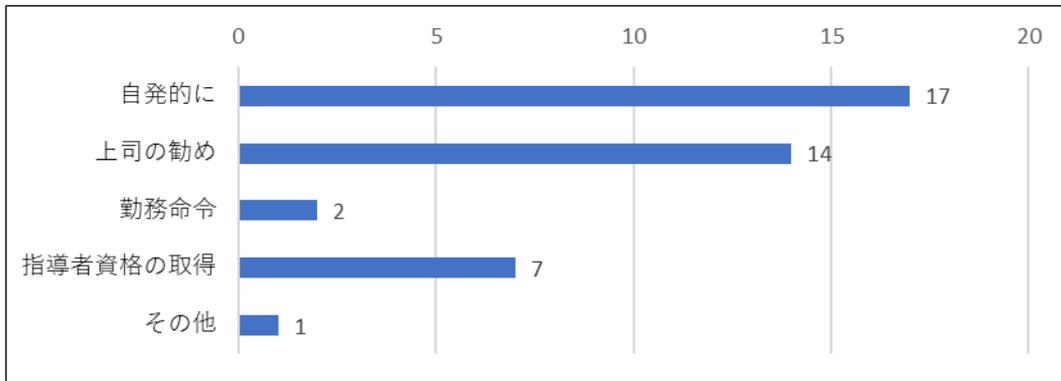
##### ii. 助産師経験年数



##### iii. 実習指導者の経験年数



#### iv. 受講動機(複数回答)



#### v. 研修で学習したい内容(内容抜粋)

- ・学生の学習意欲を高め、効果的に実習目標達成へと導くための指導方法
- ・実践的な指導技術、効果的なコミュニケーション技術
- ・学生指導における実習施設による違い
- ・大学や学校における、コロナ禍の中での学習の工夫
- ・学生を受け入れるにあたっての実習施設側の準備と心構え
- ・学習評価の方法
- ・最近の学生の特徴に適した指導の在り方

#### vi. 助産師学生の指導における困り事(内容抜粋)

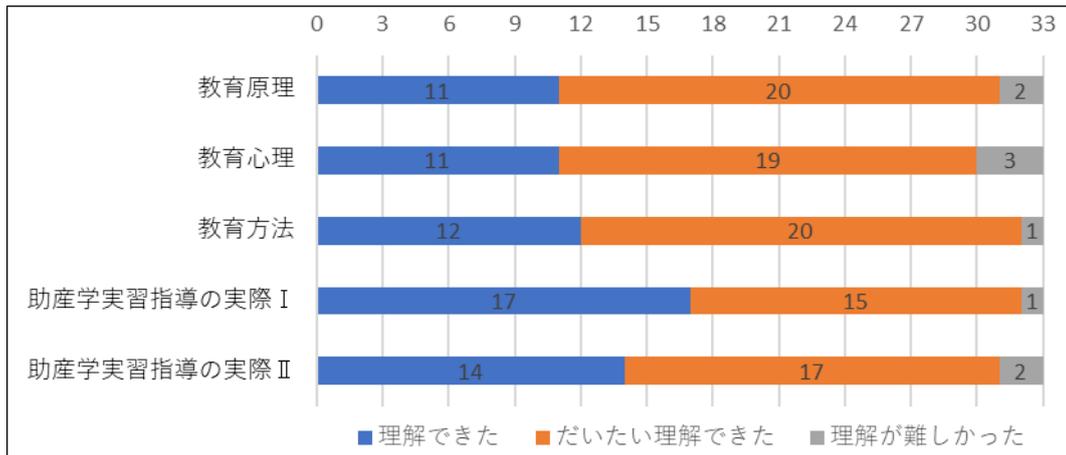
- ・学生のレイタンスや性格を考慮した指導方法
- ・指導目標の設定
- ・効果的な発問をすることが難しい
- ・学生の学習を導く効果的なコミュニケーションの取り方
- ・相手の身になって考えることができない学生に、ケア提供時の配慮を指導することが難しい
- ・精神疾患や発達障害を有する学生への指導
- ・報告・連絡・相談ができない学生への指導
- ・臨床指導者と教員との協働が不十分

#### vii. 助産師学生(看護学生、新人等)の指導における工夫(内容抜粋)

- ・講義・演習ではシミュレーション型を多く取り入れている 臨地実習中も zoom 等を活用して学生とのコミュニケーション・振り返りの機会を多く設けるように工夫している。
- ・分娩がないときは、PCによる分娩介助の学習を行っている。
- ・学生担当が日々異なるために、指導内容や指導方法をノートやPC等用いて共有し、統一した指導になるようにしている。
- ・臨床指導者研修を受講したスタッフが専任で学生指導に当たる事ができるようにしている。
- ・指導者による偏りが出ないように、職場全体で指導にあたっている。

- ・ルーブリック評価を用いて指導している。
- ・学生の個性を生かし、強みを伸ばしていけるような関わりを意識している。
- ・自律的に課題に向き合えるように、到達課題や目標を共有しリフレクションを支えている。
- ・出来る限り、学生の行動計画や、主体性にそって実習できるように努めている。
- ・学生の意見や希望、実習場面で困っていることや悩ましいことを聞く時間を割いている。

### viii. オンデマンド研修の理解度



### ix. オンデマンド講義の感想(内容抜粋)

- ・実習状況と重ね合わせ、場面の例など挙げていただき学びとなった。
- ・どう考えたらよいのか、悩ましい内容があった。もう少し詳しく説明やガイドがあると良かった。
- ・教育についての講義を聴くのが初めてなので、難しいと感じた。自分が学生になった気分になり新鮮だったが、Zoomが初体験なので緊張した。
- ・一方通行の講義というのにこちらも慣れないといけないなと思った。課題の中に、質問や感想を記入する欄が設けられており、先生方へお伝えする機会が設けられていたのは良かった。
- ・講義を通して、当院で学生の受け入れの準備が足りていなかったことがわかったので、学生がくるまでの約1か月弱の間に他スタッフとも共有していきたい。

### x. オンデマンドの受講についての意見(内容抜粋)

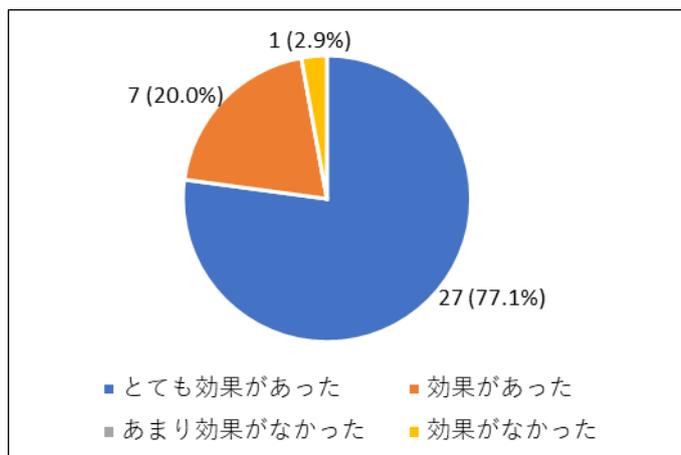
- ・今までは、参加したくても何日間か泊まりがけで受講しなければならず、勤務の調整が出来なかったが、今回のオンデマンドやオンラインでの受講なので研修に参加できてよかった。
- ・オンデマンドだと分けて受講したり、繰り返し受講したりと仕事をしながらでも受けやすかった。
- ・Google classroomを利用するのが初めてだったため、慣れず大変だった。
- ・慣れていないのでwifi環境が大変だったが、身近な感じでディスカッション出来て良かった。
- ・開催期間を2週間過ぎまで設けていただき、勤務やプライベートに合わせて、オンデマンド講義を視聴する事ができた。
- ・日常の勤務・業務や家庭生活と両立しながらの受講は、正直少ししんどかった。対面受講ならば、「この日は研修会」と日常業務と区別できたのかなと思う。

- ・開催日程が短い。夜勤や指導持ち帰り、委員会や研修をしながらの参加のため、プライベートの時間をほとんど費した。講習会の期間ずっと見られるようにしていただきたい。
- ・画面が携帯、アイパッド、PC で若干異なるので混乱した。完了は課題をつけないといけないことかと思い、ずっと完了が押せず、何度も聴講した。回答は済んでいるという表示が欲しい。
- ・これまでの臨床指導者研修では、出張扱い等で参加をしている先輩が多かったので、仕事をしながらできるというのは受講動機になった。この先もオンデマンド研修を強く希望したい。
- ・仕事をしながらのオンデマンド講義受講は厳しかった。職場に勤務内の受講、出張扱いでの自宅受講を相談したが却下された。受講環境が厳しい者もいることを理解してほしい。
- ・自分が思っていたよりも、業務との両立が厳しいと感じた。このまま、期日に間に合わせられるか弱気になっている時、ここに提出してくださいとわざわざメールや提出操作の間違いを途中でメールしていただいたり、私が困っていないかといつも見守ってくださっている方々がいらっしゃると感じ、どうにか期日だけは守る事が出来た。大変感謝している。

## ②オンライン講義(演習・グループワークを含む)のアンケート結果

アンケートは 37 部を配布、35 部を回収した(回収率 94.6%)。

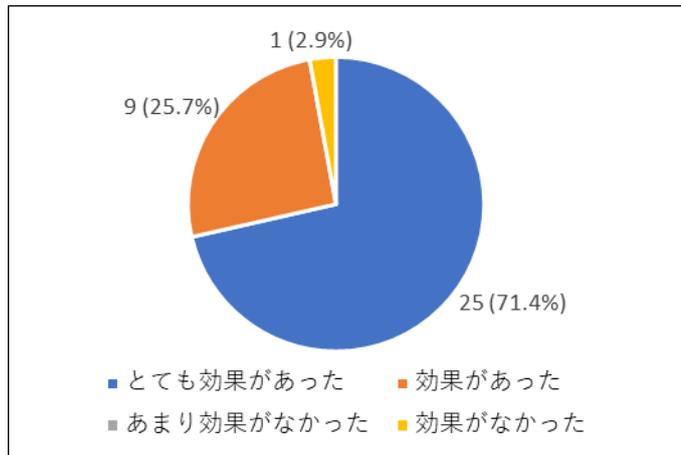
### i. オンライン講義(リフレクション)の学習効果



### ii. 上記を選んだ理由(内容抜粋)

- ・実際の指導場面で活用したところ、お互いの思いのズレに気づくことができ、良い方向に向かうきっかけになった。
- ・自分の考え方の癖や、やり方の癖などが分かり、今後の課題とすることが出来た。
- ・グループワークで様々な意見を聞くことで、自分の精神的な許容範囲も広がり、緊張や不安を感じている学生が少しでも多くの事を学ぶにはどうしたらいいか考えるきっかけになった。
- ・人により手段や考えは異なるので、その都度リフレクションをしていくことは大切だと思った。
- ・効果的な指導技法を学ぶだけでなく、リフレクションを用いて指導や自分自身を振り返ることで冷静に指導場面や教育方法について検討することができた。
- ・実際に指導中に受けた研修だったので、学んだ技法を取り入れて効果を感じる事ができた。

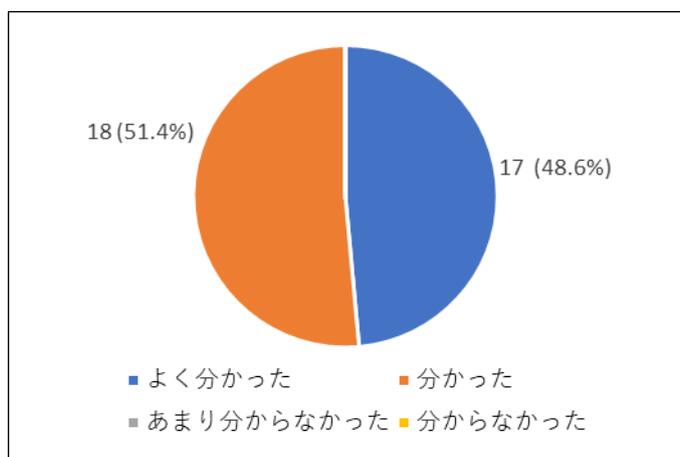
### iii. オンライン講義(ファシリテーター、コーチング)の学習効果



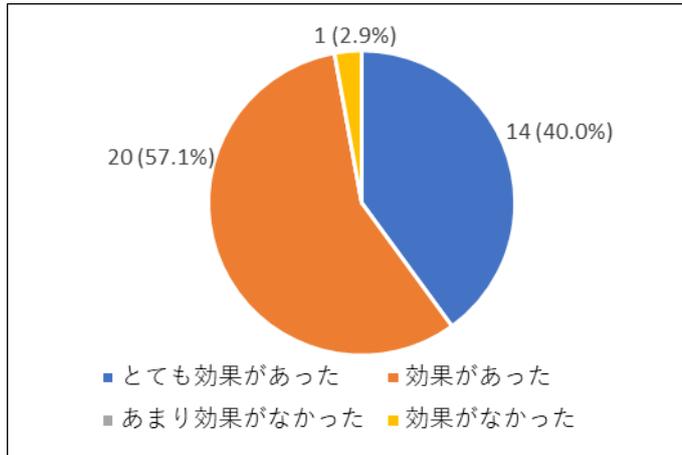
### iv. 上記を選んだ理由(内容抜粋)

- ・意図的に承認や発問を繰り返すことの効果が学べた。学生にとっての安全基地を作ることが出来るのも指導者の役割だと新たに学ぶことが出来た。
- ・日々の学生との関わりの中で意識することで、学生から良い反応が返ってくることもあり、学んでよかったと思った。
- ・指導だけではなく、いろんな状況(産婦や子育て等も…)においてもコーチング・ファシリテーションでその人を伸ばすことにつながることを実感した。
- ・指導においてコーチングの重要性を学んだ。相手を理解してその行為に対して考えることや、承認や発問を通して学生の考えを引き出せるように関わっていくことが必要だと実感した。
- ・何気なく行っていたことや、行ってしまっていたことを整理して、技法について学べたことがよかった。また、ポジティブな視点でみることの大切さを学べた。
- ・現在、自身も職場でコーチングを受けていて、受ける側の視点も合わせて考えることができた。

### v. 分娩介助実習の指導案作成の理解度



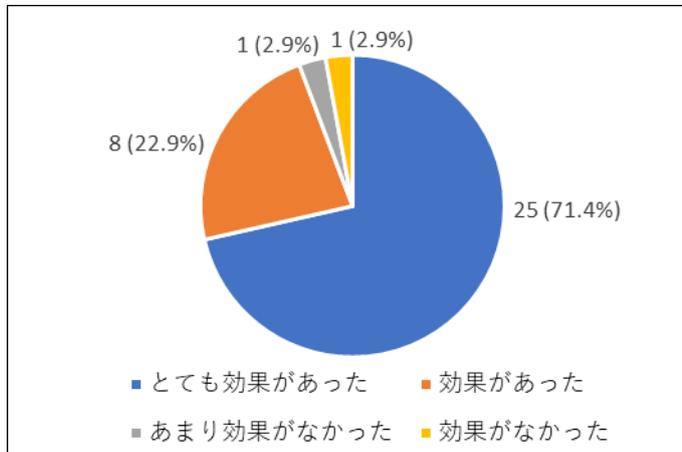
## vi. 分娩介助実習の指導案作成の学習効果



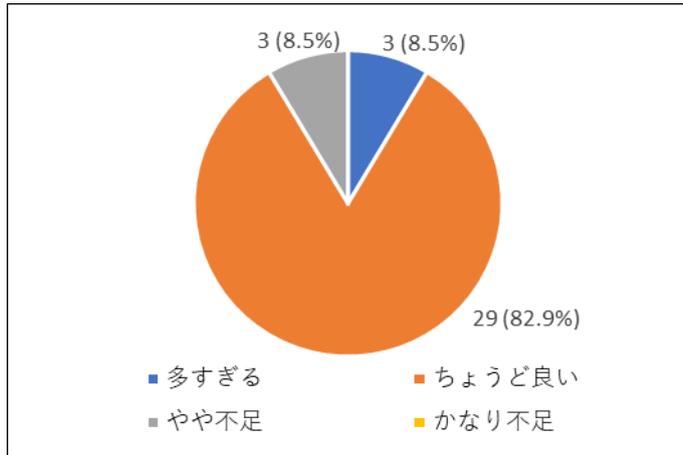
## vii. 上記の回答の理由(内容抜粋)

- ・一つの場面を切り取って、指導を掘り下げていくという作業はとても難しかった。発問や承認、モデリングなどどのような時に行うのかを具体的に学ぶことができた。
- ・実際の場ではゆっくり考えられないところを、3観について考えながら、どのような声掛けが有効かなど一つ一つ考えることができてよかった。
- ・担当教員が必要時助言をくれたり質問できたりしたのでわかりやすかった。
- ・一つ一つ細かく振り返り、細分化し、他人とディスカッションすることで指導の幅が広がった。
- ・初対面での助産師同志で、オンラインという方法でのディスカッションも今まで経験なかったところで、更に指導作成を作成する、という幾つもの初経験で戸惑いだらけだった。現在コロナ禍で、学生さんたちも同様に、オンラインスタイルで学んでいるのだなと体感できた。
- ・普段あまり考えたことのない、学生の反応について考える機会があったことで、実際の指導中に学生がどのように考え反応するか予測しようと心がける機会が増えた。
- ・指導案を作成することで、一貫性のある指導ができ、三観をもとに作成することで学生の目標到達も明確となり、どうアプローチするべきか考えやすくなった。

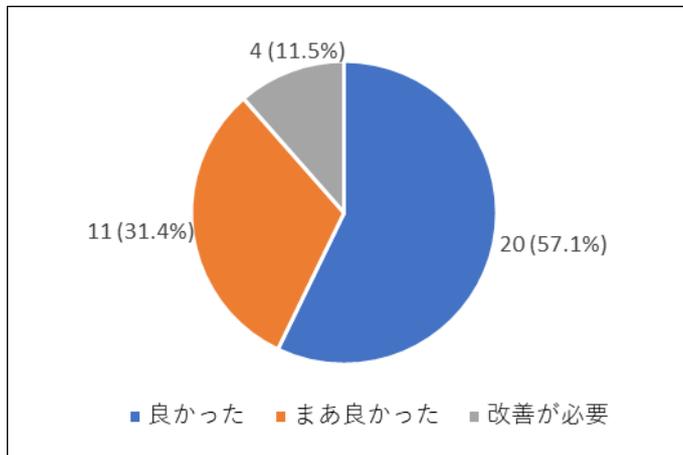
## viii. グループワークによる学習効果



### ix. 演習時間の長さ



### x. 演習のサポート状況



### xi. グループワークの発表時間・内容・方法についての意見（内容抜粋）

- ・時間調整が難しかった。PC 操作に苦勞した。方法は聴きやすかった。
- ・時間配分もよく、途中の通信トラブルなどにも冷静に対応していただいて、とても安心した。
- ・時間配分もちょうどよく、パワーポイント等発表は聞きやすかった。ただ、質疑応答になると、対面とは雰囲気が変わってしまうのかなと感じた。対面ならもっと質問や意見出たのかなと思う。
- ・時間、内容、方法ともよかった。パワーポイントなどの画面共有は不慣れなメンバーがほとんどだったため、それに慣れたメンバーがするなどの工夫をして発表に臨むことができた。
- ・できれば、一事例ずつの質疑応答のほうがよかったように思う。
- ・発表内容、時間要検討かと思う。もう少し指導案を実際に読み込んでから発表を聞くと、発問などの教授方法などの違った視点での学びが深められたと思う。
- ・2つの課題を2グループにわけて発表していくことも、それぞれのオリジナルが見れて良かった。
- ・様々なグループの成果が見え、それぞれのグループが大切にしたい指導観も知ることが出来た。PPT 資料の作成方法については、もう少し助言があった方が作りやすかった。
- ・スケジュールが直前に明かされるので、事前によむとか準備ができない。

## xii. オンデマンド、オンラインを活用した講習会についての意見(内容抜粋)

- ・仕事と家庭(子育て)との両立を考えると、今回のようなオンデマンド・オンライン型の講習会は非常にありがたい機会だった。
- ・オンラインの講習会受講は初めてだったが、参加しやすかった。オンラインに対する抵抗感がなくなった。
- ・全国各地のいろいろな施設の方とお話もできすごく貴重な経験となった。グループワークでの作業方法がもう少し計画的であるとやりやすかった。
- ・思った以上にグループワークもできてよかった。しかし、実際に先生やグループメンバーに会って、熱いディスカッションもしてみたかった。
- ・グループワークに関して、具体的な方法などの指示があまりなく、質問がしやすい環境でもなかった。やり方や進め方そのものについて推測する時間が長かったのが時間として無駄だったように思う。もう少し、スムーズに討議や資料作成に移行できる説明があればよかった。
- ・個人的にグループごとに連絡を取ることが提示されたが、個人情報もあるので難しく、できれば時間外の相談の方法なども提示してもらえると良かった。
- ・zoomでの講習会の経験がほとんどなく、パソコン操作やグループワークでの意見交換などもとても不安だったが、回を重ねるごとにやり方にも慣れ、グループメンバーとも打ち解けることができ段々と楽しむことができた。
- ・対面での雰囲気や伝わる人間関係から学ぶこともあると思いますが、今回はオンデマンド・オンラインだったので、時間がとりやすく、その分の参加ストレスがなかったことと、オンデマンドで自分のペースで学習することができたので良かった。
- ・提出書類の提出方法が難しく、不親切に感じた。でも、オンラインだからこそ、自由度も高く、いろんな場所の方と繋がることができ貴重な体験ができた。
- ・私たちのグループは、話し合いがなかなか始まらなかった。計画を立てても進まないことに、新しく時間設定やグループ目標を定めても消極的な意見が出て、周りがそれ以上言えない、言わさない場面が多くグループの機能についてファシリテーションをされていて悩みになった。お互いに立場を思い忖度してしまい、質問や考えが引き出し合えず、話し合いのテーブルにつく準備ができていない参加者もあり、ハラハラした。
- ・非常に参加しやすい環境だった。今後もこのような形は残してほしい。しかし、メンバーによってはネット環境が悪い理由で発表ができない、記録ができないなど、メンバーの中での負担が偏ってしまうことにはやや不満が残った。
- ・実際に研修に行くとなると、移動時間の関係上厳しい日程であったためオンラインでよかった。
- ・可能なら最終日だけでも、グループの皆さんと直接会ってお話が出来れば良かったと思う。

#### 4. e-learning 研修

##### 1) コンテンツ

コンテンツ	講師	内 容	アドバンス助産師更 新要件	
			分野	時間数
助産論	安達久美子先生	助産ケアの理念と助産師倫理綱領 女性の人権と健康、助産と生命倫理	倫理 or WHC	1.5h
助産論演習	郷原 寛子先生	学校経営と管理	管理 or WHC	1.5h
助産師教育方法論	村上 明美先生	助産師教育における教授・学習計画 作成の考え方	教育 or WHC	1.5h
助産師教育方法論 I	高橋 弘子先生	助産師教育における教授・学習活動 の成立① 助産師教育の歴史	教育 or WHC	1.5h
助産師教育方法論 II	高橋 弘子先生	助産師教育における教授・学習活動 の成立② 現代の助産師学生	教育 or WHC	1.5h
助産師教育方法論 III	高橋 弘子先生	助産師教育における教授・学習活動 の成立③ 教育現場で活用したい学 習理論	教育 or WHC	1.5h
助産師教育課程 I	佐々木幾美先生	教育課程の基本原理	教育 or WHC	1.5h
助産師教育課程 II	佐々木幾美先生	教育課程と法律	教育 or WHC	1.5h

※2021年8月以降はアドバンス助産師の区分が統一されたため、全て選択研修となります。

##### 2) 2021 年度配信数

4 件

#### IV. センター事業における CLoCMiP®レベルⅢ認証申請のための研修一覧

2021年度 アドバンス助産師更新要件の指定研修:助産師教育研修研究センター					
期間	主催	研修プログラム	分野	時間数	研修スタイル
2021年度	全助協(セ)	特定分野(助産)における保健師助産師看護師実習指導者講習会	教育またはWHC	41.0h	オンデマンド研修 オンライン研修 集合研修
	全助協(セ)	1st研修(科目履修)/助産師教育方法論	教育またはWHC	39h	オンライン研修
	全助協(セ)	1st研修(科目履修)/助産師教育方法演習	教育12.0h コミュニケーション10.5h	22.5h	オンライン研修
	全助協(セ)		またはWHC22.5h		
	全助協(セ)	1st研修(科目履修)/助産論	教育3.0h、管理3.0h、研究3.0h、倫理1.5hまたはWHC10.5h	10.5h	オンライン研修
	全助協(セ)	1st研修(科目履修)/助産論演習	管理16.5h、倫理6.0hまたはWHC22.5h	22.5h	オンライン研修
	全助協(セ)	1st研修(科目履修)/助産師教育評価	教育13.5h、研究3.0h、コミュニケーション6.0hまたはWHC22.5h	22.5h	オンライン研修
	全助協(セ)	2nd研修 助産師教育開発論	教育	5.0h	オンライン研修
	全助協(セ)		研究	5.0h	
	全助協(セ)		コミュニケーション	5.0h	
	全助協(セ)		倫理	5.0h	
	全助協(セ)		管理	5.0h	
	全助協(セ)		25hを任意の上記分野に任意時間配当可	25h	
	全助協(セ)	e-learning研修/助産師教育における教授・学習活動の成立①	教育またはWHC	1.5h	e-learning
	全助協(セ)	e-learning研修/助産師教育における教授・学習活動の成立②	教育またはWHC	1.5h	e-learning
全助協(セ)	e-learning研修/助産師教育における教授・学習活動の成立③	教育またはWHC	1.5h	e-learning	
全助協(セ)	e-learning研修/教育課程の基本原理解	教育またはWHC	1.5h	e-learning	
全助協(セ)	e-learning研修/教育課程と法律	教育またはWHC	1.5h	e-learning	
全助協(セ)	e-learning研修/助産ケアの理念と助産師倫理綱領、女性の人権と健康、助産と生命倫理	倫理またはWHC	1.5h	e-learning	
全助協(セ)	e-learning研修/学校経営と管理	管理またはWHC	1.5h	e-learning	

※1 特定分野(助産)における保健師助産師看護師実習指導者講習会は2022年8月から必須研修(後輩指導)90分及び選択研修39.5hに変更になりました

※2022年8月以降の研修はアドバンス助産師の更新要件の区分統一の為、すべて選択研修となります。

## 2021年度 助産師教育研修研究センター運営委員会

センター長	平澤 美恵子
委員	浅見 恵梨子
	飯塚 幸恵(2021年9月から)
	岡山 久代
	倉本 孝子
	白石 三恵
	中山 香映
	萩原 直美
	藤井 宏子
	山崎 圭子(五十音順)
担当理事	渡邊 典子(2021年6月まで)
	小川 久貴子(2021年6月から)